

3. 2 小学校3・4年生（1） 指導の概略

Ⅱ. 対処行動を知る A. 地震から身を守る方法を知る

指導する学年	小学校3年生	指導する時間	特別活動 (学級活動)	指導する時数	1時間
目 標	地震や津波の恐ろしさを知り、地震から身を守るための正しい行動を知る。				
使用する資料	【動画-02】2004年インド洋津波(瓦礫が流れる様子) 【写真-03】1960年チリ地震津波による釜石市の被害 【写真-04】1968年十勝沖地震津波による釜石市の被害 【資料-10】地震時に身を守るための正しい行動 【print-21】地震時の対応行動				

1. 導入

(1) 津波の動画を見て、地震津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。

【動画-02】2004年インド洋津波(瓦礫が流れる様子)[0:32]

(2) 学習課題を把握する。

2. 展開

(1) 過去の釜石市の被災状況を紹介し、今後三陸沖地震の起こる確率を紹介する。

【写真-03】1960年チリ地震津波による釜石市の被害

【写真-04】1968年十勝沖地震津波による釜石市の被害

(2) いろいろな場所があるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。

【資料-10】地震時に身を守るための正しい行動

3. まとめ

(1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-21】地震時の対応行動

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

4. 確認

(1) 地震から身を守る方法を理解することができたか？

関連する
教科・行事等

【小3社会科】安全なくらしとまちづくり

3. 2 小学校3・4年生（1） 指導の注意点

1. 導入

- (1) 津波の動画を見て、地震津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。
- 発表の中から、「津波から命を守るためには避難が必要」であることをおさえる
 - 「津波が来たとき、すぐに避難するためには何が必要か」を問いかける→生き埋めにならないこと！
 - 津波の前には、大きな揺れの地震がある（小さな揺れの地震でも津波が来る場合があることに注意）ことを指摘する
- (2) 学習課題を把握する。



【動画-02】[0:32]
2004年インド洋津波（瓦礫が流れる様子）

2. 展開

- (1) 過去の釜石市の被災状況を紹介し、今後三陸沖地震の起こる確率を紹介する。
- 多くの犠牲者がでた地震や津波が釜石に襲来してきたことを確認する（釜石市の犠牲者数は以下の通り）
 - ・1896年（明治29年）明治三陸沖地震 約6,700人
 - ・1933年（昭和 8年）昭和三陸沖地震 約400人
 - ・1952年（昭和27年）十勝沖地震
 - ・1960年（昭和35年）チリ地震
 - 過去にあったような大きな地震や津波が近い将来、再び釜石に襲ってくることを確認する
 - ・宮城県沖地震 今後30年で99%の確率で発生



【写真-03】1960年
チリ地震津波による釜石市の被害

- (2) いろいろな場所があるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。

→以下の各状況について、地震時の行動を確認する

- ①自宅にいた場合
- ②学校にいた場合
- ③スーパーやデパートにいた場合
- ④劇場やホールにいた場合
- ⑤住宅街にいた場合
- ⑥海岸にいた場合
- ⑦商店街にいた場合
- ⑧車の中にいた場合
- ⑨電車やバスの中にいた場合
- ⑩山の中にいた場合
- ⑪エレベーターの中にいた場合、など



【写真-04】1968年
十勝沖地震津波による釜石市の被害

3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。
- 大きな揺れの地震によって、生き埋めにならないようにする行動を覚えておくこと
 - 身近な場所では、家具などが倒れてこないような対策を日頃から行っておく必要があることをおさえる



【資料-10】地震時に身を守るための正しい行動
（地震@なび釜石版より）